

# Rev

## Chapter 8

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1    Καὶ    ὅταν    ἤνοιξεν    τὴν    σφραγίδα    τὴν    ἑβδόμην,    ἐγένετο    σιγὴ    ἐν  
      そして    その-時    開いた    その    封印を    その    第七の    起こった    静けさが    ~の中に  
      [G2532](#)    [G3752](#)    [G0455](#)    [G3588](#)    [G4973](#)    [G3588](#)    [G1442](#)    [G1096](#)    [G4602](#)    [G1722](#)
- τῷ    οὐρανῷ    ὡς    ἡμῶριον.  
      その    天に    ~のように    半時間-ほど  
      [G3588](#)    [G3772](#)    [G5613](#)    [G2256](#)

小羊が第七の封印を解いた時、半時間ばかり天に静けさがあった。

- 2    καὶ    εἶδον    τοὺς    ἑπτὰ    ἀγγέλους,    οἱ    ἐνώπιον    τοῦ    Θεοῦ  
      そして    私は-見た    その    七人の    御使いたちを    その-者たちが    御前に    その    神の  
      [G2532](#)    [G3708](#)    [G3588](#)    [G2033](#)    [G0032](#)    [G3739](#)    [G1799](#)    [G3588](#)    [G2316](#)
- ἐστήκασιν,    καὶ    ἐδόθησαν    αὐτοῖς    ἑπτὰ    σάλπιγγες.  
      立っている    そして    与えられた    彼らに    七つの    ラッパが  
      [G2476](#)    [G2532](#)    [G1325](#)    [G0846](#)    [G2033](#)    [G4536](#)

それからわたしは、神のみまえに立っている七人の御使を見た。そして、七つのラッパが彼らに与えられた。

- 3    Καὶ    ἄλλος    ἄγγελος    ἦλθεν    καὶ    ἐστάθη    ἐπὶ    τοῦ    θυσιαστηρίου,    ἔχων  
      そして    別の    御使いが    来た    そして    立った    ~の-上に    その    祭壇の    持って  
      [G2532](#)    [G0243](#)    [G0032](#)    [G2064](#)    [G2532](#)    [G2476](#)    [G1909](#)    [G3588](#)    [G2379](#)    [G2192](#)
- λιβανωτὸν    χρυσοῦν;    καὶ    ἐδόθη    αὐτῷ    θυμιάματα    πολλὰ,    ἵνα  
      香炉を    金の    そして    与えられた    彼に    香が    多くの    ~する-ために  
      [G3031](#)    [G5552](#)    [G2532](#)    [G1325](#)    [G0846](#)    [G2368](#)    [G4183](#)    [G2443](#)
- δώσει    ταῖς    προσευχαῖς    τῶν    ἁγίων    πάντων    ἐπὶ    τὸ  
      加える-ために    その    祈りに    その    聖なる-者たちの    すべての    ~の-上に    その  
      [G1325](#)    [G3588](#)    [G4335](#)    [G3588](#)    [G0040](#)    [G3956](#)    [G1909](#)    [G3588](#)
- θυσιαστήριον    τὸ    χρυσοῦν    τὸ    ἐνώπιον    τοῦ    θρόνου.  
      祭壇の    その    金の    その    御前に-ある    その    御座の  
      [G2379](#)    [G3588](#)    [G5552](#)    [G3588](#)    [G1799](#)    [G3588](#)    [G2362](#)

また、別の御使が出てきて、金の香炉を手に持って祭壇の前に立った。たくさんの香が彼に与えられていたが、これは、すべての聖徒の祈に加えて、御座の前の金の祭壇の上にささげるためのものであった。

- 4    καὶ    ἀνέβη    ὁ    καπνὸς    τῶν    θυμιαμάτων    ταῖς    προσευχαῖς    τῶν  
      そして    上った    その    煙が    その    香の    その    祈りと-共に    その  
      [G2532](#)    [G0305](#)    [G3588](#)    [G2586](#)    [G3588](#)    [G2368](#)    [G3588](#)    [G4335](#)    [G3588](#)
- ἁγίων,    ἐκ    χειρὸς    τοῦ    ἀγγέλου,    ἐνώπιον    τοῦ    Θεοῦ.  
      聖なる-者たちの    ~から    手から    その    御使いの    御前に    その    神の  
      [G0040](#)    [G1537](#)    [G5495](#)    [G3588](#)    [G0032](#)    [G1799](#)    [G3588](#)    [G2316](#)

香の煙は、御使の手から、聖徒たちの祈と共に神のみまえに立ちのぼった。

5 καὶ εἴληφεν ὁ ἄγγελος τὸν λιβανωτόν, καὶ ἐγέμισεν αὐτὸν ἐκ τοῦ  
 そして 取った その 御使いが その 香炉を そして 満たした それを ~から その  
[G2532](#) [G2983](#) [G3588](#) [G0032](#) [G3588](#) [G3031](#) [G2532](#) [G1072](#) [G0846](#) [G1537](#) [G3588](#)

πυρὸς τοῦ θουσιαστηρίου, καὶ ἔβαλεν εἰς τὴν γῆν; καὶ ἐγένοντο  
 火で その 祭壇の そして 投げた ~の-上に その 地に すると 起こった  
[G4442](#) [G3588](#) [G2379](#) [G2532](#) [G0906](#) [G1519](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2532](#) [G1096](#)

βρονταί, καὶ φωναί, καὶ ἀστραπαί, καὶ σεισμός.  
 雷と そして 声と そして 稲光と そして 地震が  
[G1027](#) [G2532](#) [G5456](#) [G2532](#) [G0796](#) [G2532](#) [G4578](#)

御使はその香炉をとり、これに祭壇の火を満たして、地に投げつけた。すると、多くの雷鳴と、もろもろの声と、い  
 なくまど、地震とが起こった。

6 Καὶ οἱ ἑπτὰ ἄγγελοι, οἱ ἔχοντες τὰς ἑπτὰ σάλπιγγας, ἠτοίμασαν  
 そして その 七人の 御使いたちが その 持っている その 七つの ラッパを 備えた  
[G2532](#) [G3588](#) [G2033](#) [G0032](#) [G3588](#) [G2192](#) [G3588](#) [G2033](#) [G4536](#) [G2090](#)

αὐτοὺς ἵνα σαλπίσωσιν.  
 自らを ~する-ために 吹く-ために  
[G0848](#) [G2443](#) [G4537](#)

そこで、七つのラッパを持っている七人の御使が、それを吹く用意をした。

7 Καὶ ὁ πρῶτος ἐσάλπισεν; καὶ ἐγένετο χάλαζα, καὶ πῦρ μεμιγμένα  
 そして その 第一の-者が 吹いた すると 起こった 雹と そして 火が 混ぜられた  
[G2532](#) [G3588](#) [G4413](#) [G4537](#) [G2532](#) [G1096](#) [G5464](#) [G2532](#) [G4442](#) [G3396](#)

ἐν αἵματι, καὶ ἐβλήθη εἰς τὴν γῆν; καὶ τὸ τρίτον τῆς  
 ~の-中に 血に そして 投げられた ~の-上に その 地に すると その 三分の一の その  
[G1722](#) [G0129](#) [G2532](#) [G0906](#) [G1519](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5154](#) [G3588](#)

γῆς κατεκάη, καὶ τὸ τρίτον τῶν δένδρων κατεκάη, καὶ  
 地が 焼き-尽くされた そして その 三分の一の その 木々が 焼き-尽くされた そして  
[G1093](#) [G2618](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5154](#) [G3588](#) [G1186](#) [G2618](#) [G2532](#)

πᾶς χόρτος χλωρὸς κατεκάη.  
 すべての 草が 青い 焼き-尽くされた  
[G3956](#) [G5528](#) [G5515](#) [G2618](#)

第一の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、血のまじった雹と火とがあらわれて、地上に降ってきた。そして、地  
 の三分の一が焼け、木の三分の一が焼け、また、すべての青草も焼けてしまった。

8 Καὶ ὁ δεύτερος ἄγγελος ἐσάλπισεν; καὶ ὡς ὄρος μέγα, πυρὶ  
 そして その 第二の 御使いが 吹いた すると ~のような 山の-ような 大きな 火で  
[G2532](#) [G3588](#) [G1208](#) [G0032](#) [G4537](#) [G2532](#) [G5613](#) [G3735](#) [G3173](#) [G4442](#)

καϊόμενον, ἐβλήθη εἰς τὴν θάλασσαν, καὶ ἐγένετο τὸ τρίτον τῆς  
 燃えている 投げられた ~の-中に その 海に すると なった その 三分の一の その  
[G2545](#) [G0906](#) [G1519](#) [G3588](#) [G2281](#) [G2532](#) [G1096](#) [G3588](#) [G5154](#) [G3588](#)

θαλάσσης αἷμα;  
 海が 血に  
[G2281](#) [G0129](#)

第二の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、火の燃えさかっている大きな山のようなものが、海に投げ込まれた。  
 そして、海の三分の一は血となり、

9 καὶ ἀπέθανεν τὸ τρίτον τῶν κτισμάτων τῶν ἐν τῇ θαλάσῃ  
そして 死んだ その 三分の一の その 被造物が その ~の-中の その 海にいる  
[G2532](#) [G0599](#) [G3588](#) [G5154](#) [G3588](#) [G2938](#) [G3588](#) [G1722](#) [G3588](#) [G2281](#)

τὰ ἔχοντα ψυχάς; καὶ τὸ τρίτον τῶν πλοίων διεφθάρσαν.  
その 持っている 命を そして その 三分の一の その 船が 滅ぼされた  
[G3588](#) [G2192](#) [G5590](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5154](#) [G3588](#) [G4143](#) [G1311](#)

海の中の造られた生き物の三分の一は死に、舟の三分の一がこわされてしまった。

10 Καὶ ὁ τρίτος ἄγγελος ἐσάλπισεν; καὶ ἔπεσεν ἐκ τοῦ οὐρανοῦ  
そして その 第三の 御使いが 吹いた すると 落ちた ~から その 天から  
[G2532](#) [G3588](#) [G5154](#) [G0032](#) [G4537](#) [G2532](#) [G4098](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3772](#)

ἀστήρ μέγας, καιόμενος ὡς λαμπάς, καὶ ἔπεσεν ἐπὶ τὸ  
星が 大きな 燃えている ~のように たいまつのように そして 落ちた ~の-上に その  
[G0792](#) [G3173](#) [G2545](#) [G5613](#) [G2985](#) [G2532](#) [G4098](#) [G1909](#) [G3588](#)

τρίτον τῶν ποταμῶν, καὶ ἐπὶ τὰς πηγὰς τῶν ὑδάτων.  
三分の一の その 川に そして ~の-上に その 泉に その 水の  
[G5154](#) [G3588](#) [G4215](#) [G2532](#) [G1909](#) [G3588](#) [G4077](#) [G3588](#) [G5204](#)

第三の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、たいまつのように燃えている大きな星が、空から落ちてきた。そしてそれは、川の三分の一とその水源との上に落ちた。

11 καὶ τὸ ὄνομα τοῦ ἀστέρος λέγεται Ὁ Ἄψινθος; καὶ ἐγένετο  
そして その 名は その 星の 呼ばれている その ニガヨモギと すると なった  
[G2532](#) [G3588](#) [G3686](#) [G3588](#) [G0792](#) [G3004](#) [G3588](#) [G0894](#) [G2532](#) [G1096](#)

τὸ τρίτον τῶν ὑδάτων, εἰς ἄψινθον, καὶ πολλοὶ τῶν ἀνθρώπων  
その 三分の一の その 水が ~に ニガヨモギに そして 多くの その 人々が  
[G3588](#) [G5154](#) [G3588](#) [G5204](#) [G1519](#) [G0894](#) [G2532](#) [G4183](#) [G3588](#) [G0444](#)

ἀπέθανον ἐκ τῶν ὑδάτων, ὅτι ἐπικράνθησαν.  
死んだ ~から その 水から なぜなら 苦く-なったからだ  
[G0599](#) [G1537](#) [G3588](#) [G5204](#) [G3754](#) [G4087](#)

この星の名は「苦よもぎ」と言い、水の三分の一が「苦よもぎ」のように苦くなった。水が苦くなったので、そのために多くの人が死んだ。

12 Καὶ ὁ τέταρτος ἄγγελος ἐσάλπισεν; καὶ ἐπλήγη τὸ τρίτον τοῦ  
そして その 第四の 御使いが 吹いた すると 打たれた その 三分の一の その  
[G2532](#) [G3588](#) [G5067](#) [G0032](#) [G4537](#) [G2532](#) [G4141](#) [G3588](#) [G5154](#) [G3588](#)

ἡλίου, καὶ τὸ τρίτον τῆς σελήνης, καὶ τὸ τρίτον τῶν ἀστέρων;  
太陽が そして その 三分の一の その 月が そして その 三分の一の その 星々が  
[G2246](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5154](#) [G3588](#) [G4582](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5154](#) [G3588](#) [G0792](#)

ἵνα σκοτισθῇ τὸ τρίτον αὐτῶν, καὶ ἡ ἡμέρα μὴ  
~する-ために 暗く-なるために その 三分の一が その そして その 昼は ~ない  
[G2443](#) [G4654](#) [G3588](#) [G5154](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3588](#) [G2250](#) [G3361](#)

φάνη τὸ τρίτον αὐτῆς, καὶ ἡ νύξ ὁμοίως.  
輝かなかった その 三分の一が その そして その 夜も 同様に  
[G5316](#) [G3588](#) [G5154](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3588](#) [G3571](#) [G3668](#)

第四の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、太陽の三分の一と、月の三分の一と、星の三分の一が打たれて、これらのものの三分の一は暗くなり、昼の三分の一は明るなくなり、夜も同じようになった。

13	Kaì	εἶδον,	καὶ	ἤκουσα	ένός	ἀετοῦ	πετομένου	έν	
	そして	私は-見た	そして	私は-聞いた	一羽の	鷲が	飛んでいる	～の-中で	
	<a href="#">G2532</a>	<a href="#">G3708</a>	<a href="#">G2532</a>	<a href="#">G0191</a>	<a href="#">G1520</a>	<a href="#">G0105</a>	<a href="#">G4072</a>	<a href="#">G1722</a>	
	μεσουρανήματι,	λέγοντος	φωνῆ	μεγάλῃ,	Οὐαὶ,	οὐαὶ,	οὐαὶ,	τούς	
	中天で	言っている	声で	大きな	わざわい	わざわい	わざわいだ	その	
	<a href="#">G3321</a>	<a href="#">G3004</a>	<a href="#">G5456</a>	<a href="#">G3173</a>	<a href="#">G3759</a>	<a href="#">G3759</a>	<a href="#">G3759</a>	<a href="#">G3588</a>	
	κατοικοῦντας	ἐπὶ	τῆς	γῆς,	ἐκ	τῶν	λοιπῶν	φωνῶν	τῆς
	住んでいる-者たちに	～の-上に	その	地に	～の-ゆえに	その	残りの	声の	その
	<a href="#">G2730</a>	<a href="#">G1909</a>	<a href="#">G3588</a>	<a href="#">G1093</a>	<a href="#">G1537</a>	<a href="#">G3588</a>	<a href="#">G3062</a>	<a href="#">G5456</a>	<a href="#">G3588</a>
	σάλπιγγος	τῶν	τριῶν	ἀγγέλων,	τῶν	μελλόντων	σαλπίζειν!		
	ラッパの	その	三人の	御使いたちの	その	やがて	吹く		
	<a href="#">G4536</a>	<a href="#">G3588</a>	<a href="#">G5140</a>	<a href="#">G0032</a>	<a href="#">G3588</a>	<a href="#">G3195</a>	<a href="#">G4537</a>		

また、わたしが見ていると、一羽のわしが中空を飛び、大きな声でこう言うのを聞いた、「ああ、わざわいだ、わざわいだ、地に住む人々は、わざわいだ。なお三人の御使がラッパを吹き鳴らそうとしている」。